

特集

# 個性と感性をアートで表現。

## 無限の可能性が広がる創作活動

個性と感性にあふれる、障がいのあるアーティストたちの作品。今月はアートで自己表現する皆さんと、その創作活動をサポートする方々の取り組みを紹介します。

### 創作でポジティブな変化が生まれる。

障がいのある方がアート活動に取り組みやすい環境を広げていくことを目指し、さまざまな活動を行っているサンク。月に1度のオープンアトリエの開催など、佐賀市開成のアトリエは多くの人が集う創作の場となっています。



障がいのある方がアート活動に取り組みやすい環境を広げていくことを目指し、さまざまな活動を行っているサンク。月に1度のオープンアトリエの開催など、佐賀市開成のアトリエは多くの人が集う創作の場となっています。

「大きな紙にみんなで絵を描くワークショップを開いたときに、言葉でのコミュニケーションが難しい子が積極的に絵を描いていたことがあります。その後、その子のイライラの回数が減ったそうです。大きな絵を描いて気持ちを吐き出し、心が落ちついたのかもしれないですね。そんなポジティブな変化がアートを通して生まれることは喜びです」と語ります。



佐賀県障がい者芸術文化活動支援センター SANC (サンク) おおいし てつや 大石 哲也 さん

Webサイトは  
コチラ



◆ オープンアトリエ (ゆつたらアートDAY)

…… 毎月第3土曜日 要予約

◆ 動画「スター発掘☆TV」

…… 歌やダンスが得意な方がパフォーマンスを披露!

コチラから



## アート活動が「人生」に広がるように。

きやま鹿毛病院内にアトリエを構えるピクファ。仕事の一環として創作活動に取り組んでいます。過去には大手企業とのコラボやフランスで個展を開いた方も。この夏、県立博物館で開催された『関係するアート展 V O I . 2 』にも尽力された施設長の原田さんは次のように話します。

「私たちのテーマは創作活動がアートだけでなく『人生』に広がることです。アトリエには地元の方などが遊びに来てくださるのですが、そうやってみんなが

集う場になっ

ていることが

いちばんうれ

しいですね。福祉施設は地

域の資産になるべきだと私

は考えています」

メンタルケアなど福祉の

面を大切にしながら、創

作活動では、見た人に「ワ

クワクを超えたゾクゾクを

感じてほしい」と話す原田

さん。誰もが気軽に立ち寄

れるピクファのアトリエで、

作家さんやその作品に触れ

てみてください。



## 突き抜けた才能を生かす道をつくる。

働きづらさを感じている方々の社会参加を、アートという手段で支援しているジーニアス。プロの芸術家の指導のもと「お絵かき」を「アート作品」に昇華させ、グッズ制作のほか、企業などとのコラボも行っています。

代表の西村さんは「彼らはへこんでいる部分があるところがある。その突き抜けた部分が、作品を見た人の心を動かすのだと思います。また創作活動にはセラピーの効果もあります。作品を生み出す成功体験が自信につながって、症状が改善したり、薬の量が減ったりすることもあるんです」と笑顔。また「作家のお母さんが、展示会で自分の子が描いた作品が売れていく場面に立ち会い、



◆ 今年6月には伊万里市に「GENIUS IMARI」も誕生



就労継続支援B型事業所 GENIUS (ジーニアス) 管理者、株式会社すみなす 代表取締役 にしむら ふみひこ 西村 史彦 さん

Webサイトは  
コチラ

### トピックス

## 佐賀さいこうフェスでアートを体感!

佐賀さいこうフェス内で、ワークショップやライブペイント、グッズ販売などを行います。個性あふれるアートをぜひお楽しみください。

10/22(土)・23(日)

